

評価シート（年度評価）

男女平等参画推進センター・女性会館の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:総務局・教育委員会>

指定管理者	アイ・コニックグループ		
主な業務内容	講座・セミナー事業、市民活動支援事業、情報提供、交流事業など		
評価対象期間	平成28年4月～平成29年3月	指定管理期間	平成26年4月～平成30年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	
	(2) 開館の実績	利用日・利用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	・気温や利用状況に合わせて細かく冷暖房機の調節をし、電気使用量を抑えた。
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績を挙げているか。	○	・施設の利用率が向上し、入館者数も増加した。 ・利用率の低いホールのチラシを作成し、配架した。
	(2) 事業実施状況	計画通り事業が実施されているか。	◎	
	(3) 広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。	◎	
	(4) 接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	○	
	(6) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて対応しているか。	○	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	・光熱費や一般管理費が抑えられ、収支状況は好調であった。
	(2) 収支状況	当初の予定通りの収支状況になっているか。	◎	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
<p>28年度の貸室研修室等利用率は72.7%であった。(27年度利用率70.8%)利用率の低いホールのチラシを作成したり、Facebookで広報を始めたりする等、施設利用促進が図られている。</p> <p>気温や利用状況に合わせて細かく冷暖房機の調節をし、光熱費の削減につながった。</p> <p>利用者満足度調査では、窓口対応、貸室、図書資料室について「とても満足(とてもよい)」 「満足(よい)」と回答した割合が90%を超え、利用者には満足をいただいている。</p>

# 施設の現状

## 男女平等参画推進センター・女性会館

施設の現状							
施設概要							
<p>男女平等参画推進センター 男女共同参画社会の実現を目指した名古屋市における総合的な拠点施設であり、男女平等参画の推進に関する施策を実施するとともに、市民及び事業者による様々な取り組みを進めている。</p> <p>女性会館 「女性の学習・交流・情報の拠点」として、女性の学習活動・グループ活動の支援等を行い、女性教育の振興を図っている。</p>							
市の収支状況(千円) (28年度決算見込み額)							
支出			収入				
指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
70,281	0	70,281	484	567	69,230	70,281	19,322
特記事項							
平成26年4月に男女平等参画推進センターを女性会館へ移転し、両施設を一体的に管理運営する指定管理者制度を導入（金額については両施設の合計値）							
管理運営指標の状況							
取組状況							
指標		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
入館者数		人	—	294,902	300,769	310,273	
貸室研修室等利用率		%	—	62.3	70.8	72.7	
特記事項							
平成26年度から男女平等参画推進センターと女性会館は一体的な運営を行っているため、「入館者数」については、両施設の合計値である。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

評価シート例（指定期間を通じた評価）

男女平等参画推進センター・女性会館の管理運営状況

1 基本情報		＜所管局：総務局・教育委員会＞		
指定管理者	アイ・コニックグループ			
主な業務内容	講座・セミナー事業、市民活動支援事業、情報提供、交流事業など			
評価対象期間	平成 26 年 4 月～平成 29 年 3 月	指定管理期間	平成 26 年 4 月～平成 30 年 3 月	
2 管理運営状況（評価結果の推移）				
評価項目	評価区分			特記事項
1 基本事項	26 年度	27 年度	28 年度	
(1) 平等利用	○	○	○	
(2) 開館の実績	○	○	○	
(3) 情報管理	○	○	○	
(4) 職員体制	○	○	○	
(5) 法令等の遵守	○	○	○	
(6) 事故・災害等への 対策・対応	○	○	○	
2 維持管理	26 年度	27 年度	28 年度	・26 年度に備品について、台帳不備など適切ではない管理状況がみうけられたが、27 年度に改善された。
(1) 建物・設備の保守 点検	○	○	○	
(2) 警備業務	○	○	○	
(3) 清掃業務	○	○	○	
(4) 備品の管理	△	○	○	
3 サービス	26 年度	27 年度	28 年度	・利用率の低いホールのチラシの作成・配架や、Facebook を活用した広報を開始した。 ・施設の利用率が向上し、入館者数も増加した。
(1) 利用実績	○	○	○	
(2) 事業実施状況	○	○	◎	
(3) 広報・PR の実施	○	○	◎	
(4) 接客態度	○	○	○	
(5) 苦情・要望の把握・対応	○	○	○	
(6) 利用者満足度	○	○	○	
4 経費等	26 年度	27 年度	28 年度	・26 年度はシステム導入等のための人員増強などにより人件費の支出が計画値より大きく上回ったが、27 年度には赤字が削減され、28 年度には好転した。
(1) 執行状況	○	○	○	
(2) 収支状況	△	○	◎	
(3) 再委託	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）

26 年度	<p>利用者数は、移転工事に伴う長期休館の影響などにより上半期は落ち込んだが、利用者が見やすいウェブサイトを構築するなど広報に努め、下半期は例年並みまで回復した。</p> <p>事業においては新たな企画に取り組むとともに、ニーズにあわせた改善や意識啓発イベントにおいては館内装飾に工夫を施すなど、効果的な企画運営に取り組んだ。また、貸室システム稼働期の利用者サポートスタッフの増員や、講演等開催時にはスタッフを増やすなど、利用者にきめ細かく対応するために基準以上の職員配置に努めた。</p> <p>概ね適切な管理運営がなされているが、一部の事業においては当初計画を下回る結果となっているものや、事務手続きの不備が散見されるため、着実に対応されたい。</p>
27 年度	<p>利用者数は、施設の利用促進に有効な広報事業を実施することで増加した（26 年度と比べ 5, 867 人増）。</p> <p>施設の老朽化が激しい中、空調の修理や、見回り強化等、来館者が快適に利用できるよう努力している。</p> <p>昨年度に比べ、収支状況を改善することができた。また、備品については、備品台帳を整備するなど管理状況を整理することができた。</p>
28 年度	<p>28 年度の貸室研修室等利用率は 72.7%であった。（27 年度利用率 70.8%）利用率の低いホールのチラシを作成したり、Facebook で広報を始めたりする等、施設利用促進が図られている。</p> <p>気温や利用状況合わせて細かく冷暖房機の調節をし、光熱費の削減につながった。</p> <p>利用者満足度調査では、窓口対応、貸室、図書資料室について「とても満足（とてもよい）」「満足（よい）」と回答した割合が 90%を超え、利用者には満足をいただいている。</p>

### 3 利用状況等

#### 具体的な取組みや成果等

26年度の利用者数は、移転工事に伴う長期休館の影響などにより上半期は落ち込んだが、下半期は例年並みまで回復した。見やすいホームページの構築や、利用率の低いホールのチラシ作製などを行った。入館者数は増加している。

26年度は294,902人、27年度は300,769人、28年度は310,273人

### 4 収支状況等

#### 具体的な取組みや成果等

26年度は指定管理初年度であったことや、システム導入等により、人件費支出が計画値を大きく上回った。27年度は26年度よりも赤字が削減された。28年度は光熱水費や一般管理費等が抑えられ、また利用料金収入が昨年度実績および計画値を上回り、収支状況は好調であった。

### 5 利用者の意見や満足度等

#### 利用者の意見や満足度等の内容・推移

利用者満足度調査において、窓口対応について「とても満足」「満足」、貸室について「とてもよい」「よい」と回答した割合が3年連続90%以上であった。図書資料室については、「とてもよい」「よい」と回答した割合が26年度は72.3%であったところ、28年度には93.1%になった。

### 6 総合評価

#### 所管局のコメント・特記事項等

概ね適切な管理運営がされている。収支状況は年を追うごとに改善されており、28年度には収入が支出を上回った。利用者満足度調査の結果からも、利用者の満足度が高いことがわかる。

事業においては映画上映会やメールマガジンなど新たな企画や広報に取り組むとともに、意識啓発イベントにおいては館内装飾に工夫を施すなど、施設の設置目的に沿って利用促進のための工夫が凝らされていた。